

(保健教育)

自己肯定感を高め合う子どもを育てる保健学習・保健指導
～「話す・聞く活動」を土台として～

大阪市立岸里小学校 研究部

1. 研究主題設定の理由

本校ではこれまで国語科を中心に言語活動の充実を目指して研究を進めてきた。特に、この2か年において「話す・聞く活動」を中心に、基本的な話形の定着、ペアやグループ交流を通じての意見交流などの深まりにより、子どもたちが自分の考えを伝えたり、友達の話の意図をくみ取りながら聞いたりする力を高めることができた。過去の研究で培った「話す・聞く活動」の指導を「主体的・対話的で深い学び」の視点を持って掘り下げながら、本校児童の実態を探り、テーマを「自己肯定感を高め合う子どもを育てる保健学習・保健指導～『話す・聞く活動』を土台として～」とし、本年度より2年計画で研究活動に取り組むこととした。

2. 研究趣旨

本校児童の実態は、学力の二極化以外に、生活リズムの乱れ、学習姿勢の乱れなどの課題がある。また、社会の情報化やグローバル化など、変化が激しい現代において、今日的な課題と言われる「心の健康、喫煙、飲酒、薬物乱用、生活習慣病等」の正しい知識を身につけることや、基本的な生活習慣の確立を通して、心身のよりよい発育・発達をめざすことができると考える。これら保健教育に取り組み、児童の生活習慣の向上を図り、今日的な課題の正しい知識・理解に取り組むことが、本校の重点的な課題の一つでもある学力向上についても有効なアプローチになるであろうと考える。本研究を通して、一朝一夕にははぐくむことは難しいと考えるが、自己肯定感を高め合うことにつながるよう、研究活動を推進したい。

3. 研究の概要

研究主題にせまるため、研究の視点を次のように設定した。

保健学習・保健指導の特質の明確化

現在、学校教育で行われる保健教育は、大きく分けて体育科で行われる「保健学習」、特別活動とりわけ学級活動でおこなわれる「保健指導」に分けられる。

「保健学習」は第3学年から第6学年体育科でおこなわれ、その特質を「実践的に理解する学習」とし、「保健指導」は第1学年から第6学年、それぞれの学年・学級の実態に応じて、特別活動とりわけ学級活動(2)「日常の生活や学習への適応および安全」において、集団での話し合いを通して、個人の目標を決める意思決定・自己決定を経て、自主的・実践的な活動を実質とするものとして、理解し実践にあたる。

「話す・聞く活動」を中心とした「主体的・対話的で深い学び」を設定

本校の研究主題の副題は「話す・聞く活動を土台として」とある。そこで、指導にあたっては低学年からのペアやグループでの話し合い活動を基礎において、「話す・聞く活動」を通じて、その時間の目標を達成するために、最も効果的な方法を吟味する。そして、

選んだ指導方法の効果を発揮させるために必要な時間配分が可能かを考慮し、授業の展開を考察する。

4. 研究の成果と今後の課題

(1) 研究の成果

本校では、昨年度まで、国語科の研究を続けてきた。その中で子どもたちに培われた「順序立てて話す」力、「相手を意識して、話したり聞いたりする」力、「目的意識をもって話す」力等が、保健教育を実践する中での深い学びにつながった。そして、学校全体に保健教育が浸透しつつあることが、なによりの成果であると感じている。授業を通して、子どもたちの心の中に、「たくましく生き抜く」ための種が植えられ、自分たちの生活をより良いものにしていこうという意識が芽生えてきた。

① 課題解決策を考える力の習得

隣の席やグループの友だちと話し合う活動を取り入れたことにより、自分自身の健康課題に気付き、課題解決策について深く考えることができるようになってきた。友だちと意見交流をしながら、自分の考えを深めることができた。

また、「主体的・対話的で深い学び」を実践するために、指導者が指導方法を共有したので、授業にあった効果的な指導方法を活用することができた。

② 自己肯定感の高まり

第1学年と第2学年は、学級活動における保健・安全指導の時間に、「なぜ正しい姿勢をしなければならないのか」「なぜ、好き嫌いなく食事をしなければならないのか」を学んだ。保健・安全指導をとおして、毎日の生活を振り返り、実践的に理解することから、意識して「できる」ことが増加した。

第3学年から第6学年は、体育科における保健学習、3年「毎日の生活と健康」、4年「育ちゆく体とわたし」、第5学年「心の健康」「けがの防止」、6学年「病気の予防」について学習した。

心と体の発育・発達について理解し、成長の個人差に気付き、不安や悩みの対処の方法を考えることができた。これらのことから、相談できる友達がいることや、かけがえのない健康、自分自身のすばらしい成長に気付き、自己肯定感が高まるきっかけとなってきた。

(2) 今後の課題

① 主題開発・・・・・・・・本校児童の実態に即した主題を設定する必要性

② 指導法の工夫・・・・・・・・ICT機器の効果的な活用・発問や板書の工夫
ワークシートの開発等

③ 他教科等との関連・・・・・・・・他教科と保健教育との関連を意識した学習の展開